

CUC 公開講座 2023【第2回】
「大学とステイクホルダー：統合報告書でみる大学への信頼」

事業活動を財務・非財務の両方の観点から評価・情報開示し、ステイクホルダーとのコミュニケーションにより各取り組みの改善を図るためのツールである統合報告書は、いまや企業のみならず大学も発行するようになっています。本学は、日本の大学の中でも早い時期から統合報告書作成に着手しました（2021年8月にはじめて発行）。学長プロジェクト2-B チームが研究テーマ「大学の社会的責任（USR）の視点からの新しい大学評価指標開発」のもと、2020年に開発したコロナ禍における自己チェックシート、および学生とともに取り組んだ研究成果も紹介しつつ、より良い統合報告書づくりを考えてまいります。

透明性が高く、ステイクホルダーからの信頼をより得られる情報開示のあり方としては、今後どのように記述内容・方法を変えていくとよいのか、本学の重要なステイクホルダーとともにディスカッションいたします。

《 講座の進行 》

1. 15：30～15：35 【学長挨拶】
原科 幸彦（千葉商科大学 学長）
2. 15：35～15：50 【第1報告】
「千葉商科大学の価値創造 ～千葉商科大学統合報告書 2021/2022 の発行～」
柏木 暢子（千葉商科大学 経営企画部長 兼 経営企画室長）
小林 博子（千葉商科大学 学部事務課長補佐/同大学統合報告書 2021 プロジェクトリーダー）
麻生 茉利（千葉商科大学 学長事務室/同大学統合報告書 2022 プロジェクトリーダー）
3. 15：50～16：05 【第2報告】
 - ①「2021年度と2022年度の千葉商科大学統合報告書の比較」
橋本 隆子（千葉商科大学 副学長/商経学部 教授）
大原 圭人・大木 月菜・山田 百桜・富成 優花（千葉商科大学 商経学部 3年）
 - ②「本学統合報告書と企業の統合報告書比較研究からの示唆」
齊藤 紀子（千葉商科大学 人間社会学部 准教授）
 - ③「自己チェックシートに基づく本学の取り組み評価からの知見」
奥寺 葵（千葉商科大学 商経学部 教授）
4. 16：05～16：25 【質疑応答】
5. 16：25～17：05 【ディスカッション】
西村 直氏（市川市役所企画部企画課課長）
市原 裕彦氏（東京ベイ信用金庫常務理事）
平井 尚美氏（日刊工業新聞社 総合事業本部 イベント事業部）※本学卒業生
篠崎 聖奈（千葉商科大学 人間社会学部 4年）
6. 17：05～17：10 【総括、閉会挨拶】
齊藤 紀子（千葉商科大学 人間社会学部 准教授）